

# 木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(19年9月分)

1. 調査実施期間 平成19年 8月20日 ～9月10日

### 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

9月分の回答企業数は35社、回収率は77.8%である。

### 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		19/9月	10月	11月
仕入動向	国産材	△ 26.8	△ 3.6	1.9
	外材	△ 30.3	△ 18.2	△ 8.1
販売動向	国産材	△ 29.3	△ 10.3	1.9
	外材	△ 25.8	△ 14.1	△ 3.3
在庫動向	国産材	△ 12.5	△ 5.4	△ 5.8
	外材	△ 22.7	△ 15.2	△ 11.3

仕入れは、国産材、外材とも大きなマイナスで弱いが、秋季には国産材がリードして好転模様。販売も国産材、外材とも当面大きなマイナス幅で荷動き状況悪いが、先行き着実な回復期待される。在庫も同様に、国産材、外材ともマイナスを大きく縮めるが、堅調気配にはやや難しい状況。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	19/9月	10月	11月
スギ正角(グリーン)	△ 6.3	△ 2.1	0.0
スギ正角(KD)	△ 2.1	0.0	2.2
ヒノキ正角	0.0	△ 2.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	2.2
米ツガ正角(現地挽)	2.4	4.8	7.1
米ツガ防腐土台角	0.0	6.3	6.5
米ツガ割物(現地挽)	2.4	4.8	4.8
米マツ平角	△ 27.3	△ 6.8	△ 2.4
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 26.2	△ 7.1	0.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 43.2	△ 25.0	△ 9.5
レッドウッド集成平角	△ 22.5	△ 12.5	△ 5.0
型枠合板(国産)	△ 55.3	△ 10.5	△ 2.8
型枠合板(輸入)	△ 54.5	△ 13.6	0.0
針葉樹合板	△ 47.6	△ 11.9	2.5

スギ正角(グリーン、KD)ゼロ、小さなプラス幅と好転している。またヒノキ正角、土台も同様に秋季は好調な推移である。米ツガは各品目とも好調で全く安定している。米マツ平角は着実な上昇気配だがプラスに至らず勢い出ない。北洋アカマツタルキ一時の勢い全く失うが、大きなマイナスからゼロと回復し、やや好調の気配でてきた。WW集成管柱、RW集成平角ともマイナス幅を縮めるが、先高感なくし弱い。合板(針葉樹を含む)は最悪の状況から、先行き一気の激変回復と、マーケットへの期待が極めて大きい。

1. 荷動き	コメント			
仕入動向	<p>米マツ一般材丸太では、米材の輸出価は8月も小幅下げで弱基調。カナダ材はストの影響からオールド材の出材が減少し、今後の手当ても難しい。(東京:問屋)</p> <p>南洋材:中国の買いが落ち着いている為価格は高止まり、下がる気配は見られない。中国材:大手建材メーカー向けと一般流通向けで現地側の受注差が拡大。価格は中国国内向けと欧州向けが順調で下がる気配なし。(東京:問屋)</p> <p>カナダのストライキの見通しが皆目分からず、仕入れが完全に止まっている。(東京:問屋)</p> <p>動きが悪い。特に構造材がよくなく、羽柄材はまあまあである。在庫欲が全く無く、送り状の数は多い細かい商いになっている。(東京:問屋)</p> <p>9月積みで契約できているのは1~2社(現地)のみの為、数量大幅減、価格は上昇。(東京:問屋)</p> <p>構造材は弱含みで仕入れる度に安くなっている。(東京:問屋)</p> <p>スギの柱は少しは動くが、ヒノキの柱・土台は全くダメ。(東京:問屋)</p> <p>仕事が少ない、仕入れも少ない。(東京:問屋) 必要時、必要量のみ仕入れ。(東京:仲買小売)</p> <p>単価にかかわらず必要数のみの購入。9月第2四半期の最終月、10月、11月、在庫調節による。(東海:問屋)</p> <p>大変動きが悪い中、とうとう盆過ぎて、全く変わらず。いつまで続けるか。(東海:問屋)</p> <p>今の仕入れは年末決済になるので、出来るだけ必要外は避ける。(東京:仲買小売)</p> <p>建築確認の遅れや長雨等で材が全く動かない。よって11、12月に関連業界の信用不安も懸念される。(東京:仲買小売)</p> <p>新築、リフォーム共荷動きに大きな変化なし。従って仕入れ 販売 在庫いずれも変化なし。(東京:仲買小売)</p> <p>建築確認申請の許可が徐々に出て来たのか、物件がかなり出てきて仕入れは増加傾向。(東海:仲買小売)</p>			
	販売動向	<p>関東マーケットでは相変わらずオールド材(良材)に対する需要は底堅いものの、コスト材に関しては大手港湾製材品の大幅値下げ等で早くも年内の商いは終わった、との声も聞かれ始めた。(東京:問屋)</p> <p>盆明けから徐々に受注が増え出した。しかし輸入コストの上昇分を販売価格に転嫁するまでには到らず、製品によっては逆ザヤ。(東京:問屋)</p> <p>入荷が皆無なのに客は全く慌てていない。徹底した当用買いに販売不振が続いている。(東京:問屋)</p> <p>ツガグリーン材のみ増え、KD割物は他樹種(北欧・ロシア材)との競合の為伸びず。(東京:問屋)</p> <p>構造材は全く売れません。(東京:問屋) まとまった注文は少ない。希望的憶測のみ。(東京:問屋)</p> <p>国産材、外材とも6月より荷動き悪い。先行きも見通しもあまり良くないが、10月以降多少良くなる予想も。(東海:問屋)</p> <p>今のところアメリカ、カナダのストなど全く関係ないようだ。(東海:問屋)</p> <p>秋需見込めず、これからの目標がつかめない。サブプライム関係で金融関係が相当の痛手を抱えているが、わが国の業界不振にも影響大と思う。(東京:仲買小売)</p> <p>9月に入り仕事が止まった。建築基準法改正の影響かも知れないが、景気後退の局面が懸念される。(東京:仲買小売)</p> <p>今年は気の重い秋になりそうです。(東京:仲買小売)</p> <p>建築確認申請に予想以上に日数を要している為、動き出すのは10月以降になりそう。(東海:仲買小売)</p> <p>建築確認申請が徐々に下り始めてきて物件が出てきたと思われる。(東海:仲買小売)</p>		
		在庫動向	<p>米材オールド材の在庫は少ないものの、コスト材の在庫は積み増しされている。(東京:問屋)</p> <p>在庫している製品はどの問屋にもあり、無い製品はどこを探しても無いという在庫のバラつきが目立つ。(東京:問屋)</p> <p>細々ながら売れていて、入荷が無い為在庫は少なくなっている。ストライキ解決が遅れば不測の事態も。(東京:問屋)</p> <p>月初めに在庫はかなり減少します。(東京:問屋)</p> <p>適正在庫だけは確保しておこうと思っている。(東京:問屋) 10、11月は木も良くなる為、在庫を増やす予定。(東京:問屋)</p> <p>国産材、外材共に在庫は多い。ただカナダ産材はストの影響で在庫は少ない。回復の見通しはまだない。(東海:問屋)</p> <p>在庫を食いつぶし、流れにまかせるという状態。(東京:仲買小売)</p>	
			2. 価格動向	<p>スギ正角 価格は良くても横バイが精一杯の様相。(東京:問屋)</p> <p>荷動き悪く先見え。(東京:仲買小売)</p>
			ヒノキ正角 ヒノキ土台角	<p>ヒノキ使用建物が増える見込みがない。(東海:問屋)</p>
		米ツガ	<p>注入土台は大手メーカーから値上げの要望(9月中より)が既に来ているが、10月以降もさらに上がると思われる。(東京:仲買小売)</p> <p>正角および割物の使用はあまり無いが防腐土台は50m3/月ぐらいの使用になる。先々も使用予定は横ばいだがカナダのストライキが気になる。(東海:問屋)</p>	
	米マツ平角	<p>大手メーカーの下げにより他メーカーも追随している。(東海:問屋)</p>		
	北洋アカマツ タルキ	<p>大量の港頭在庫が伝えられ、関税問題はどこへやら。(東京:仲買小売)</p>		
	WW・RW 集成管柱	<p>北欧材は9月が底値になると思われ、11月頃には上向くと思われる。(東京:問屋)</p> <p>輸入コストにかかわらず無く価格は値下げ傾向。(東京:問屋)</p> <p>建築確認申請の遅れがこれから影響してくると思われる。(東京:仲買小売)</p>		
	合板	<p>メーカーの在庫調整があるのでは?(東海:問屋)</p> <p>12mm合板類が大きな値下げ。型枠合板はまだ下がる気配。(東京:仲買小売)</p> <p>大量在庫が大きな足枷となろう。荷動き不振、価格下落・低迷が当分続くであろう。(東京:仲買小売)</p> <p>12、9ミリの下地・コンパネ・針葉樹合板の値下げが急だが在庫のからみあり。小口配送の売値には反映しにくい。(東京:仲買小売)</p> <p>大きく値を下げてきた。そろそろ買い時と思うが、受注のアテがないので迷っている。(東京:仲買小売)</p>		